

株式会社 アンビスホールディングス

会社案内

*AMVIS HOLDINGS, INC.
COMPANY PROFILE*



私たちアンビスホールディングスは 2019年10月9日、東証JASDAQ (スタンダード) に 新規上場いたしました!



当社グループは、閉鎖的な医療業界において新風となる事業や価値を創生し、医療を成長産業へと昇華させたいとの思いから、医療法人や社会福祉法人等の「非営利法人」ではなく、「営利法人」である株式会社として、医療施設型ホスピス事業(医心館事業)を運営してまいりました。

この度の上場はゴールではなくスタートです。今後はより一層、上場企業としての社会的責任を自覚し、併せて医療従事者として高い倫理観をあらためて見つめ直し、ステークホルダーの皆様にも信頼される医療・看護介護のリーディングカンパニーとなるよう、役職員一丸となって努力を重ねていく所存であります。

社名	株式会社 アンビスホールディングス	Amvis Holdings, Inc.
証券コード	7071	
代表者	代表取締役 柴原 慶一	
設立年月	2016年10月	事業子会社である株式会社アンビスは2013年9月に設立
資本金	15.40億円	(2019年11月末時点)
本社所在地	〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目9番8号 (2020年1月中旬まで) 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番1号 (2020年1月中旬以降)	
株主構成	株式会社 IDEA, Inc	柴原 慶一
役員構成	代表取締役 柴原 慶一 取締役 前田 早知子 取締役 三橋 秀一	取締役 鈴木 しのぶ 取締役 西久保 千賀 取締役 牛込 伸隆 (社外) 常勤監査役 荒井 亮二 (社外) 監査役 加藤 拓也 (社外) 監査役 松尾 信吉 (社外)
事業内容	有料老人ホーム、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、障害福祉サービス(居宅介護等)、放課後等デイサービス、その他付随事業	
社員数	855名	(グループ全体、2019年11月末時点)

志とビジョンある医療・介護で 社会を元気に幸せに

世界に類を見ない少子高齢社会に突入した日本。

医療・介護の財源には限りがあり、公的保険制度を維持しつつ、

AI(人工知能)の活用はじめ革新的なイノベーションが必要とされています。

私は研究者として生命の原理解明に挑んだ20年を経て、日本の医療が世界に誇る産業として発展し、世界人類にいつそう貢献するための事業を構想してきました。そして「地域医療再生」をテーマに設定し、そのアプローチを事業目的化しました。

社名の由来は、AMBITIOUS VISION “大志ある未来像”です。

私たちは社会課題の本質を問い、その解決策となる価値を創造します。限りある医療財源の適正化を図り、医療革新がもたらす進歩をひとりでも多くの国民が享受できる未来にするための事業を展開していきます。



代表取締役
柴原 慶一
しばはら けいいち

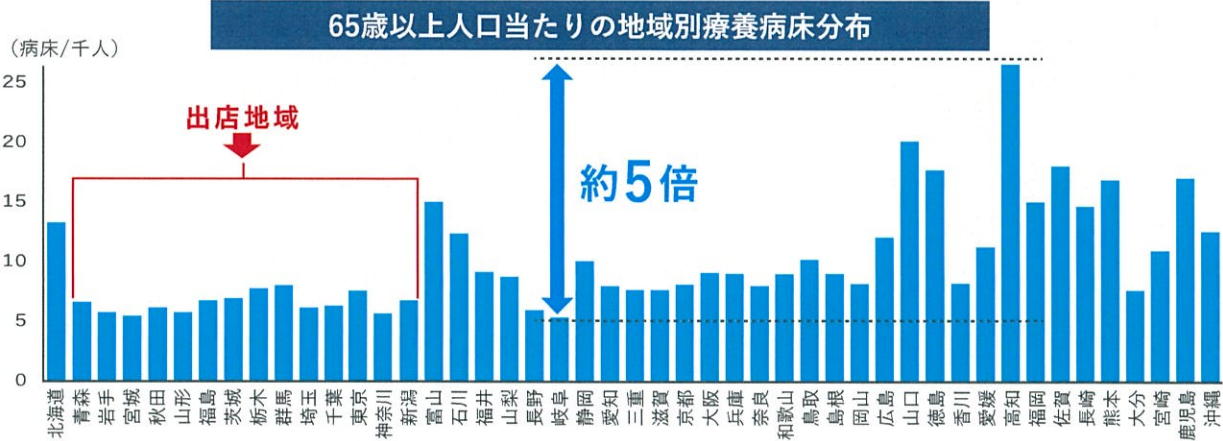
略歴

1990	名古屋大学医学部卒業、名鉄病院 内科常勤医	医師
1991	京都大学大学院医学研究科入学（1995年 医学博士号取得）	研究者
1992	免疫チェックポイント阻害薬の創製につながるPD-1の発見を論文発表 2018年ノーベル医学生理学賞受賞対象論文	
1996 - 2000	コールドスプリングハーバー研究所、科学技術振興事業団 主任研究員を歴任	
2001 - 2010	京都大学ウイルス研究所 客員助教授 国立遺伝子学研究所 准教授	事業家
2010 - 2014	閉院後の県立病院を特別養護老人ホームとして再生、民間医療法人の再生	
2013	株式会社アンビス設立	
2016	株式会社アンビスホールディングス設立	

医療・介護に関する社会課題

《療養病床の地域間格差》

- 高齢者人口当たりの療養病床は「西高東低」の傾向
- 医療資源の偏在解消は大きな課題

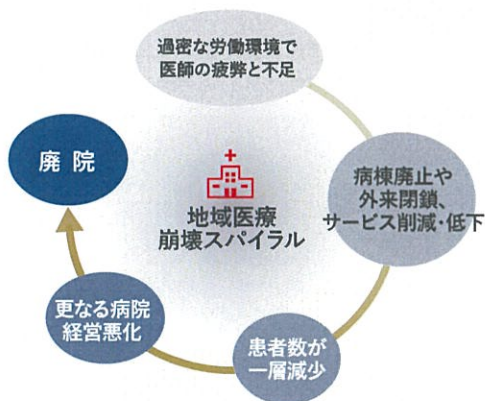


出所：総務省「人口推計」、厚生労働省「医療施設調査」2017年10月

《地域医療の疲弊・破綻》

- 医療過疎地では、病院が疲弊・破綻するケースが少ない
- この問題はやがて大都市近郊にも波及すると推論

医療過疎地病院の悪循環



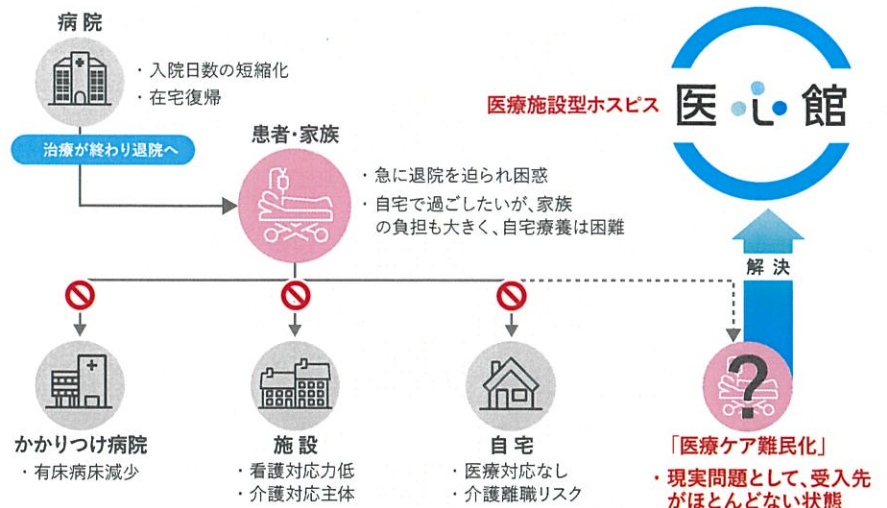
悪循環の破断に向けて分業化に着目

- ✓ 救命救急や治療は、都市部の中核病院が対応
- ✓ 医療過疎地の病院は、医師をアウトソーシングし、慢性期・終末期の看護ケアに特化する病床のような施設、医療施設型ホスピスに転換

病院再生のアプローチをスキーム化
医療施設型ホスピスを運営・展開
それが、当社の事業

《医療依存度が高い方々の行き先問題》

解決策として、慢性期終末期の看護ケアに特化し、医療依存度が高い方々の受け皿となる医療施設型ホスピス「医心館」を考案



社会課題に対する アンビスグループの取り組み

《医心館出店数及びエリアの拡大》

- 療養病床が少ない地域に、医心館を集中出店（22施設912床 2019年11月末 現在）
- 今後毎期7～10施設を出店予定 ※詳細は裏表紙をご参照ください。



「医心館 横浜都筑」外観



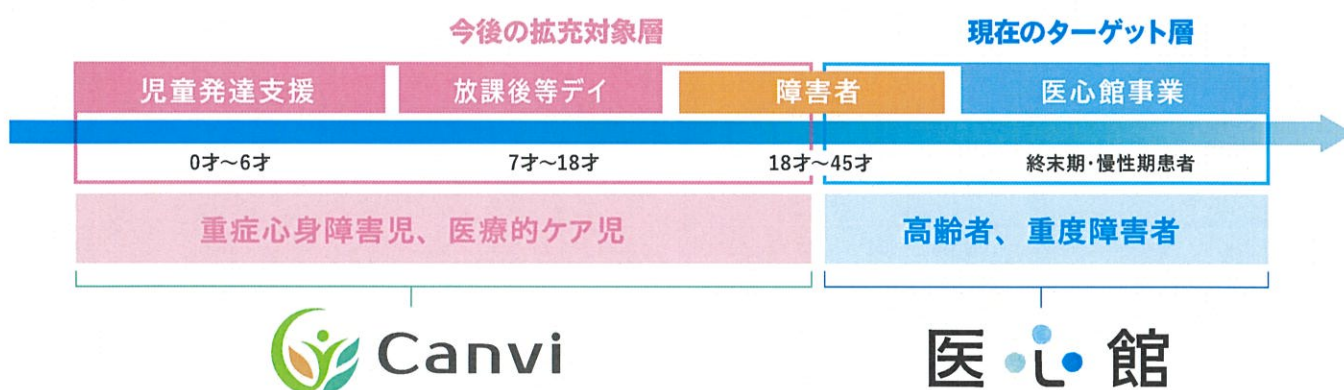
「医心館 宇都宮」外観



「医心館 北浦和」外観

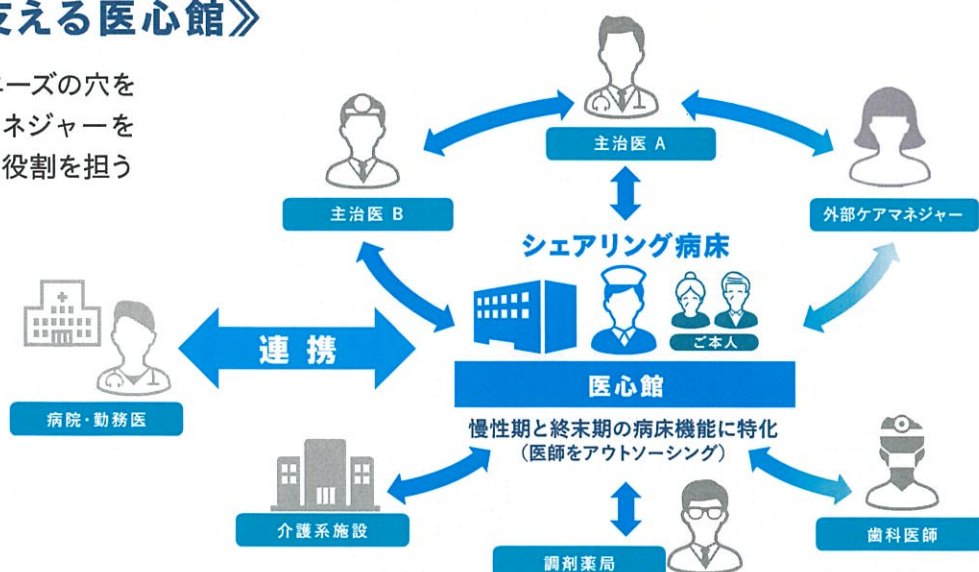
《利用対象者層の拡大》

- 2019年7月に「医心館 東戸塚」内において、重症心身障害児(者)支援事業「Canvi」を開始
- 今後の継続的な成長に鑑みて、2019年12月に横浜市港南区上永谷に移転予定



《まちの医療を支える医心館》

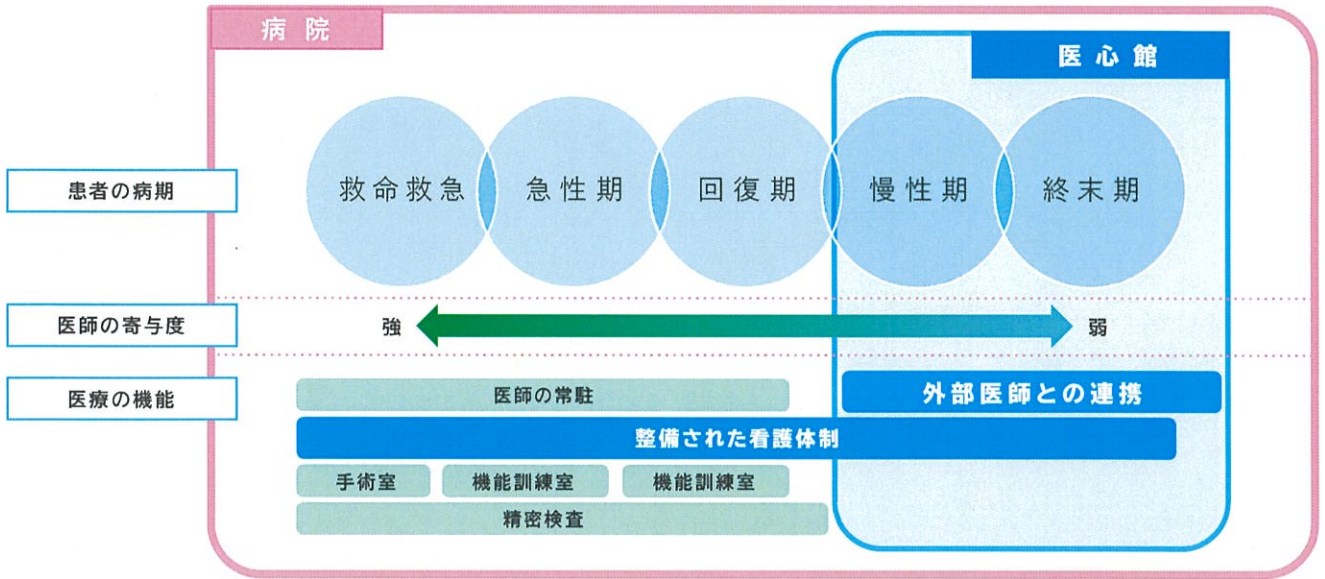
医心館が地域の医療ニーズの穴を埋め、主治医やケアマネジャーを繋ぐプラットフォームの役割を担う



医心館事業の特徴

《医心館は慢性期と終末期の看護ケアに特化した施設》

- 外部医師と連携しつつ、病院に匹敵する看護体制を提供し、慢性期・終末期ニーズに対応
- 企業努力により、利用者負担も抑制

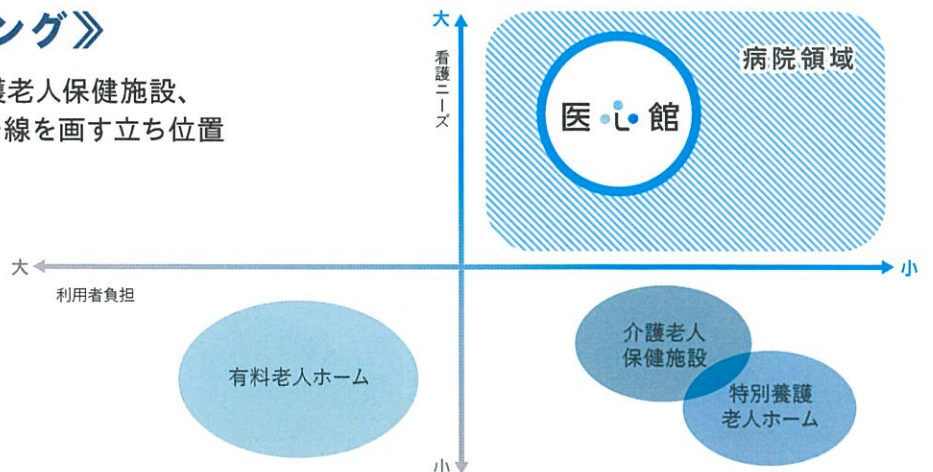


《医心館は、患者・病院・政府・在宅医・主治医にメリットを提供》



《医心館のポジショニング》

- 特別養護老人ホームや介護老人保健施設、一般的な老人ホームとは一線を画す立ち位置



アンビスグループの特徴

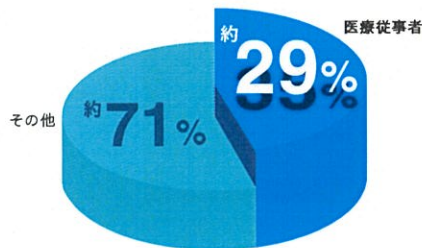
《従業員の多様なキャリア》

本社における医療従事者割合

2019.9末時点

アンビスホールディングス

計 21人



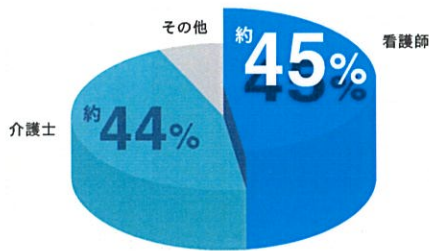
- 代表取締役が医師、取締役2名が看護師
- 医療従事者を経営側と現場側の双方に配置しており、業務内容は違えど、目指す方向が一緒である
- 医療従事者以外には、公認会計士、行政書士、金融機関出身者、公務員出身者など、多様なキャリアを持つユニークな人材が協働

現場における看護師・介護士割合

2019.9末時点

アンビス

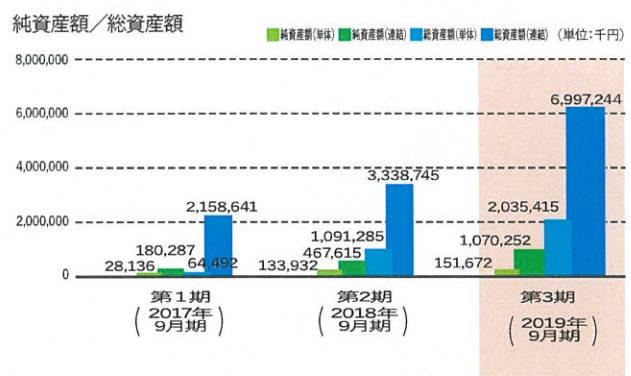
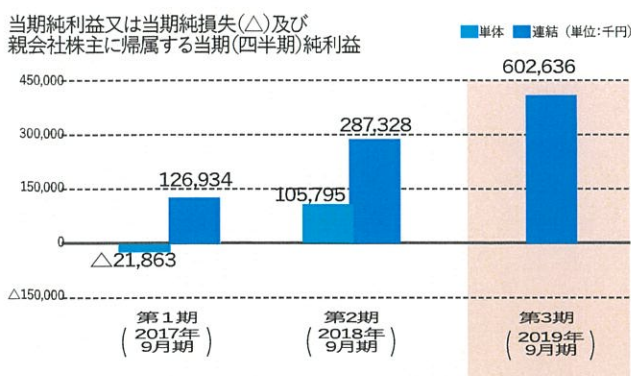
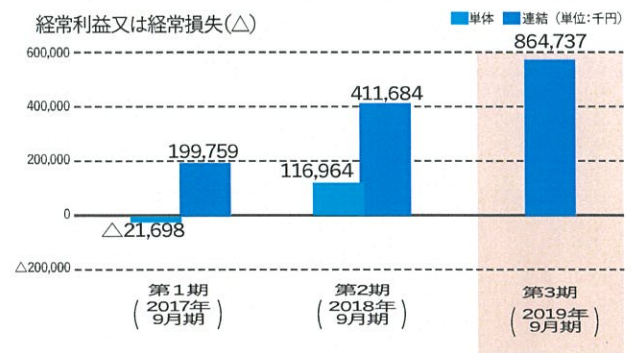
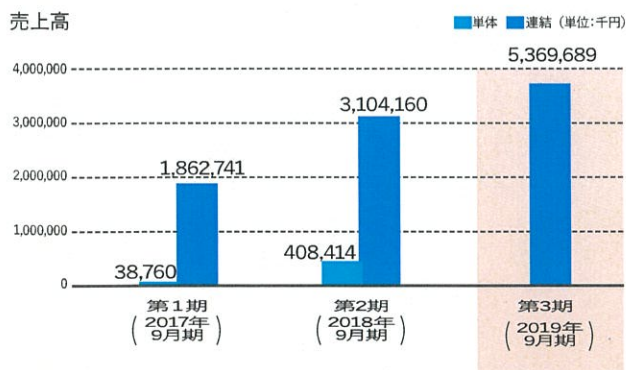
計 794人



- 利用者様には、経験豊富な看護師と介護士が質の高いサービスを提供
- 施設内に看護師を多く配置していることから、緊急時にも看護と介護が連携し、スタッフも安心して働ける環境を整備
- スタッフから医療依存度が高い方に寄り添ったケアを通じて大きなやりがいを感じられるとの声が多数
- 現場業務に留まらない多様なキャリアパスを提供

看護師	・採用担当 ・社長室担当 ・コンプライアンス担当 ・地域連携担当
社会福祉士	・コンプライアンス担当
理学療法士	・事業開発担当
薬剤師	・IR担当
放射線技師	・事業開発担当

《順調な事業成長》



全国に広がる医心館



2019年7月に山形(40床)、8月に宇都宮Ⅱ(42床)、9月に武蔵浦和(55床)、10月に新横浜(40床)、11月に北上(31床)と、5ヶ月連続での新規オープンとなりました。

当社は既存の出店地域にこだわらず、首都圏・地方都市の双方において飛び地であってもニーズがある地域への出店を進めております。

22 施設 (912 床) (2019年11月末現在)

1	三重県	名張Ⅰ、名張Ⅱ、四日市
2	愛知県	あま、本陣
3	岐阜県	岐阜
4	岩手県	盛岡Ⅰ・Ⅱ、盛岡Ⅲ号館、北上
5	埼玉県	南浦和、浦和美園、北浦和、武蔵浦和
6	神奈川県	横浜都筑、横浜立場、東戸塚、新横浜
7	栃木県	宇都宮、宇都宮Ⅱ
8	東京都	成増
9	新潟県	新潟
10	山形県	山形
11	茨城県	水戸 ※2020年2月開設予定
12	宮城県	仙台長町 ※2020年4月開設予定
13	青森県	八戸 ※2020年4月開設予定

〈お問い合わせ先〉

〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目9番8号ヤエスメッグビル6階


株式会社 アンビスホールディングス

TEL 03-6262-5105

FAX 03-6262-5106

<https://www.amvis.co.jp/>

〈採用担当〉澤田 〈出店担当〉吉村 〈広報担当〉内海 〈IR担当〉渡邊

 **Amvis** 株式会社アンビスホールディングス

当パンフレットの情報は、特別な記載がないものは2019年11月末時点のものです。

パンフレットについては、無断で複写、転写することを禁じます。
© AMVIS HOLDINGS, INC.